大野、山田の下排水路と歩道の整備は
大野は幹線改修後、山田は土改と協議

3月定例会

C議員　事故防止対策について　①大野地区の下水道改修と歩道拡幅を。前年度同様の整備をしたいというが、それでは遅い。②山田土地改良区の山田用排水路を改修し歩道の拡幅を。交通量が増え、町当局は土改と協議してほしい。

建設課長　現在、幹線水路を改修しており、その後財政勘案の上取り組みたい。

企画開発課長　用水は土地改良区のものなので、土改と協議していく。

老人の長寿祝金制度ができないか
視察、調査し十分に検討したい

C議員　老人福祉対策について　平均寿命が伸び健康で明るい家庭づくりはお年寄りを大切にすることからという観点に立ち、秋田県羽越町で実施している長寿祝金制度を本町でもできないか。視察にも行き調査したい。

町長　十分検討したい。視察にも行き調査したい。

健康管理のため役場に血圧計を
医師会の意見を聴き結論を出す

C議員　町民の健康管理について　記録装置付全自動血圧計の設置を。三重県津市に設置している。前の議会では今のところ設置する考えはないという答弁であるが、健康管理は早期発見が何よりである。試験的に1カ月ぐらい置いてみたらどうか。

答弁する町長

町長　今月末に医師会との懇談会があるので、そこで意見を十分に聴き結論を出したいと考えている。

町税が増加しているが住民サービスは
税率同じ。税の公平から使用料を徴収

D議員　①住民サービスについて　町長のよく言われる住民サービスとは何か。施政方針演説ではサービスの低下をきたさないというが、一般住民からみると、町民税が増えているのに総合体育館は使用料がとられるようになって、これがサービスか、という点がある。②町民税の伸びは何によるものか。

町長　①町民の理解と協力を得て暮らしの向上を図ること。使用料金は税の公平かつ効率的な運用のために頂くことにした。

税務課長　②町税については町民税は60年度が前年度比4900万円　61年度が2200万円の増で給与所得、農業所得税などの伸びによる。税率を上げたものではなく自然増。固定資産税も着実に伸びている。法人税は58年度1億4900万円、59年度1億8600万円、60年度1億8100万円、61年度1億9600万円となっている。

自治会の委託料は
62年度10%の増加

D議員　61年度の自治会長会議の発言について、町長は自治会の委託料を毎年増やしていくと答弁したが、62年度予算では増えていないようだが。

町長　61年度は15%増、62年度は10%増になっている。味方村とはまだ差があると認めるが、今後も努力していく。

総務課長　自治会長報償費は61年度616万2千円、62年度677万9千円と引き上げている。

行念寺移転で町の指導は
現在、土地を相談している

D議員　金巻行念寺に関する町長の指導について　行念寺が移転を蓮方に計画し、県もだいたいよいとのことであったが、町がその土地に何か計画がありだめになったと聞いた。それならば代替を用意したらどうか。

助役　行念寺さんからお堂と墓場を鳥原の駐車場の隣に建設できないかという話がありそこは農地転用の問題があると申し上げた。また、将来駐車場の拡張が考えられるためほかの場所を考えてもらえないかと話した。町としては、土地をお世話したいと考え、本人と相談している最中。

私道助成引き上げ、排水路はモデルで整備は
63年度以降検討、排水路の整備は

E議員　生活環境の整備について　①私道助成の補助率を現行の40%から50%程度に引き上げられないか。②板井の3排水路（板井―村中線、板井―寺裏線、集落排水16号線）の整備は。③来年度下水道マップを作成するそうだが、どういうものか。

町長　①62年度予算では現行どおりとしたが、63年度以降検討していく。

農政課長　②9号・16号はモデル事業で整備。いつかはまだ言明できない。要望に添って努力したい。

建設課長　②樋管のぐあいが悪いようなので調査する。③下水道整備の長期展望を示す基礎的な構想。建設省から作成の依頼があり、町も前向きに取り組むべく作成する。

大型店の出店と商店街の育成は
ウオロクとコメリ。融資を充実

E議員　商工振興対策について　広域商工動向調査では地元購買率は今品目で7.1%減少し、新潟市への流出は8.7%増えている。消費人口の流出が著しい。①大型店の出店計画。②商店街の育成。

商工振興課長　①ウオロクから2月6日付けで県知事に届け出。第2種大型店舗、善久面積1498平方㍍、開店は63年3月7日、休日は年間13日。コメリが山田地内に進出する話は聞いているが、正式な連絡はまだない。②全品目の36・2%が町内、63・8%が町外で購買されている。基本は自助努力。62年度商工会の補助増やす。産業育成資金商工業近代化資金の融資枠を拡大。新たに持家住宅建設資金貸付制度を設ける。

観光開発は。地域おこしは
今年から基礎調査を始める

E議員　観光開発について　①町独自の観光開発計画は。②今年から水田農業確立対策が始まり、本町は転作面積が291㌶、率は21・06%と増加している。幸い枝豆・スイートコーン、ブロッコリーが産地指定を受けている。観光とからめて、これら特産品による地域おこしを図るべきだ。③温泉井戸を発掘する考えは。

町長　①今ある観光資源の利用。また地下資源を温泉、農業、リハビリ、スポーツなどに活用したい。今年は将来に向けての基礎調査をする。

商工振興課長　①62年度県の観光協会に加入。緒立や焼鮒のほか、日報には1万5千人コカコーラには6千人も見学者が訪れるというので、これらも町の観光に含められるかと思う。③費用、許可、地盤沈下、採算を検討する。

焼鮒を語れる観光客

的場緒立土地区画整理の内容は
新潟市含め25・3㌶。用途は準工業

F議員　的場緒立土地区画整理事業について　①区画整理組合に460万円の補助を62年度予算に計上しているが、具体的な構想と計画は。②昨年同区域内で緒立C遺跡の発掘があり、遺物や住居跡が見つかった。遺跡の保存、史料館、収蔵庫の新設、周辺の公園化の考えは。③新たな老人ホームを建設するか。

企画開発課長　区画整理が予定されている所は本町と新潟市にまたがり、25・3㌶。市と共同歩調で、土地区画整理法に基づき補助。地権者は90人。用途は準工業地域を予定。②区画整理では通常3%が公園だが、埋蔵文化財の面積を含めると8%になり、今後の検討課題。町が組合に加入するかも今後考えたい。

教育長　②史料館や収蔵庫は長期構想の中で考えていきたい。とりあえず、遺物を環境改善センターに何点か陳列。

助役　③老人ホームは将来的には必要。今は計画ない。

保険税滞納者を制裁するのか
即制裁はない。慎重に取扱う

F議員　国民健康保険について　①国民健康保険法の改正で、保険税の滞納者から保険証を取り上げるという制裁措置ができるようになった。町としてはどう考えているのか。②国保税は平均で一世帯19万3579円、一人6万3723円。国保は低所得者が多く過重な負担になっている。亀田町は一般会計から5千万円も繰入れている。本町も負担の解消を考えるべきだ。

保健衛生課長　①特別な理由がないのに滞納している人に被保険者証の返還を求め、資格証明書を交付したり、保険給付の全部、一部の支払いを差し止めできるようになった。ただ、故意に滞納したり、財産があるのに滞納するような場合で、滞納したから即制裁措置をとることはない。慎重に対処する。

助役　国保財政の健全化を国県に求めたい。町も健康相談総合検診などで医療費を軽くしたい。一般会計から国保会計への繰入れは税の公平からみて今以上は難しい。

疑惑チラシに対する町長の対応は
町の名誉、信頼回復のため努力

F議員　一連の疑惑チラシに対する町長の対応について　町民にさまざまな憶測を呼び、今議会で綱紀粛正調査特別委員会を作り真相究明に乗り出している。①町長は名誉毀損で告訴する考えはないか。②町民に陳謝、釈明があってしかるべきではないか。

町長　①議会の特別委員会が真相を究明されると期待している。調査により全容が明らかになった時点でしかるべき措置をとる。②実態がわからないので釈明は差し控えたい。ただ、いささかなりとも法に低触することはない。チラシが出たことは私の不徳の致すところで深く反省し、町内外の皆様に心配をかけたことはおわびしたい。これから、失われた信頼、町の名誉の回復のため残された任期内を精いっぱい努力したい。

長く使われてきた町章変える理由は
大きく変わる町の将来を考え見直し

G議員　町長の政治姿勢について　①町制施行15周年を迎える62年度、町のシンボルマークである町章を変えたいようだが、現在の町章は昭和27年に制定され長く使われている。変える必要はあるのか。②職員の人事異動の方針は。適材適所、納得のいく公正な異動であるべきだ。③第3次総合計画を実施するには、町長と職員の信頼関係が何よりである。安塚町の小林町長、黒川村の伊藤村長などいろいろな首長のタイプはある。青木町長はもう少しどっしり腰をおろし自然体にかまえ職員を信頼した方がよいかと思う。

町長　①私も現在のままでもよいと思うが、大きく変わるわが町の将来を考え、職員からの意見もあり、みんなで見直したらどうかと思う。③第3次の実施にあたっては職員から喜ばれるような仕事にしたい。ご意見は貴重なものとして受けとめ意を配りたい。

助役　②行政水準の向上が図れ職員の理解と協力が得られる異動にしたい。

職員募集の数と資格は。保健婦の補充は
資格が必要。保健婦はベテランを臨時で

H議員　職員採用について　①広報くろさき281号で、大卒で実務経験10年以上年齢40歳までと募集したが何名か。採用後はどんな仕事をするのか。10年以上の経験がなぜ必要か。第1種下水道技術検定取得者、第1級土木施行管理技師取得者とあるが、1種2種1級2級を問わず役場に資格者はいるか。②今春保健婦が1名定年退職するが後任の補充は。

助役　①1名内定。大卒後資格を取るには10年ぐらい必要。2級土木施行管理技師が7人いる。ほかはいない。1億6千万円以上の工事に1級が必要。建設課で下水道をしてもらう。②県の養護教諭をしたかたを臨時に採用する予定。

山田土改の解散と町への移管は
64年4月を目途に委員会で協議

H議員　山田土改の維持管理の町に移管について　町長はこの問題について就任以来、土改理事長らと何回となく話し合い、昨年春には62年の土改総会が土改の解散総会になるようにしたいと聞いたが、昭和61年度は土改側と何回ぐらい協議したのか。話しはどこまで進んでいるのか。

町長　62年の春は無理だが、将来は土改の解散、町が維持管理するという方向で話は進んでいる。

企画開発課長　農地の維持管理など町が引き受けるためには、一つ一つ問題を洗い出しつめていくため、委員会を作る。委員会は町と土改から6人ずつ委員を出し、月1回程度開いていきたい。64年4月を解散の目途にしている。